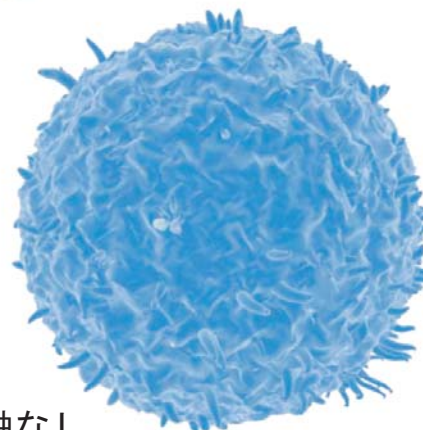


フローサイト対応 マウスCD4⁺T細胞の分離

Dynabeads FlowComp™ Mouse CD4

- フローサイトメトリー解析に対応
- 酸化鉄やデキストランなどの外来免疫原との接触なし
- 高純度、高回収率

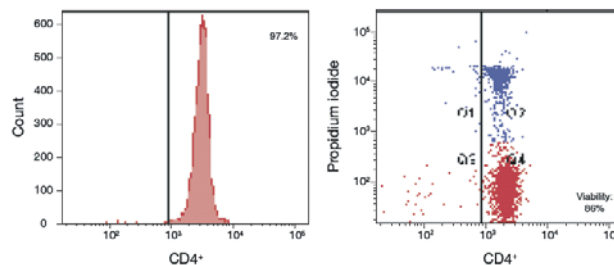


Dynabeads FlowComp Mouse CD4はポジティブセレクションの磁気分離によりCD4⁺T細胞を単離する非常に簡便なフローサイト対応のキットです。Dynabeads FlowComp Mouse CD4を使用することで簡単にviabilityの高いビーズフリーのCD4⁺T細胞を単離することができます。ビーズフリーのCD4⁺T細胞はその後のあらゆるセルベースアッセイに使用可能です。また、このキットで使用されているDynabeads technologyは細胞に対して不活性であり、悪影響を与える可能性のある生分解性パーティクルや酸化鉄、デキストランなどの外来の免疫源物質と細胞が接触するリスクもありません。さらに細胞が高密度カラムを通る際のストレスにさらされることもありません。

高い純度とviability、少ないストレス

Dynabeads FlowComp Mouse CD4はストレスを与えることなくCD4⁺マウスT細胞を分離することが可能です。この方法ではCD4⁺T細胞が高い純度とviabilityで得られるため(Fig.1)、実験結果に対する信頼度が増加します。さらに、実験にかかる時間やコストを節約することが可能です。

Dynabeads FlowComp Mouse CD4を用いた
マウスCD4⁺T細胞の分離



カラム法を用いたマウスCD4⁺T細胞の分離

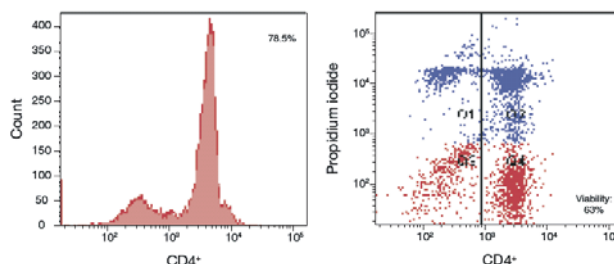


Fig.1-Dynabeads FlowComp Mouse CD4を使用して分離した非常に純度とviabilityの高いマウスCD4⁺T細胞

この方法で得られる純度とviabilityはそれぞれ97%と86%であり、カラムベースの分離法で得られる結果に比べて有意に高い値を示している

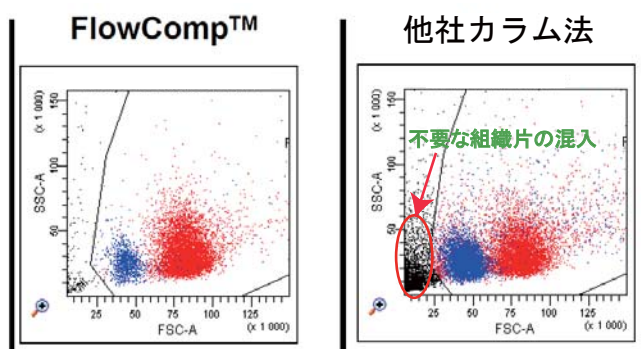


Fig.2-分離後のマウス脾臓デブリの比較

細胞分離後の細胞懸濁液をDynabeads FlowCompを使用した場合とカラムベースの分離法を使用した場合とで比較。カラムベースの分離法ではマウス脾臓からのデブリがカラムにつまってしまう効率的に除去することができていない。Dynabeads FlowCompではカラムを使用しないためデブリもきれいに取り除くことが可能。

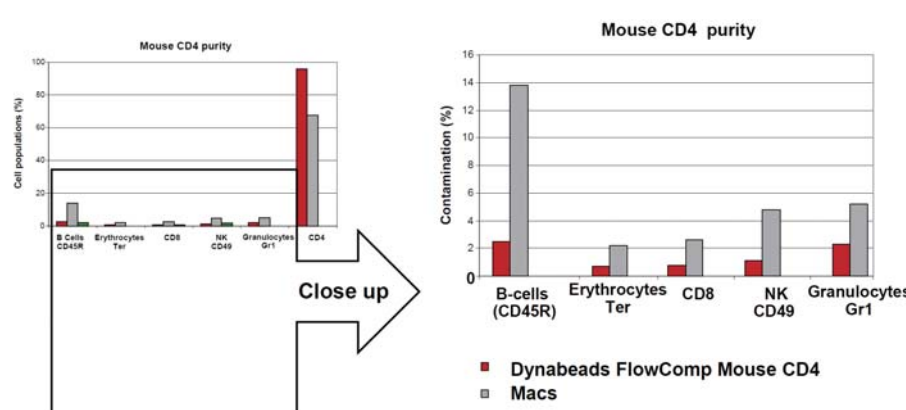


Fig.3-分離後のマウスCD4⁺T細胞フラクション中のコンタミネーションの割合

細胞分離後の各細胞ポピュレーションをDynabeads FlowCompとカラムベースの分離法とで比較解析したところ、カラムベースの分離法ではB細胞のコンタミネーションが多く見受けられた。

Dynabeads FlowCompシリーズ一覧

コードNo.	品名	処理可能細胞数	純度	回収率
DB11361	Dynabeads FlowComp Human CD4	2×10 ⁹ cells	99%	86%
DB11362	Dynabeads FlowComp Human CD8	2×10 ⁹ cells	>95%	80%
DB11461	Dynabeads FlowComp Mouse CD4	2×10 ⁹ cells	97%	83%
DB11462	Dynabeads FlowComp Mouse CD8	2×10 ⁹ cells	>90%	62%

販売代理店

日本総代理店

株式会社

ベリタス

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-14 八洲ビル
TEL.03-3593-3211 (代) FAX.03-3593-3216
E-mail: veritas@veritastk.co.jp

<http://www.veritastk.co.jp/>

RDBF-2878
(07.07.00)V